

白馬館デジタルバッジシステムの要件と実現プラン

目的

顧客の登山や宿泊実績に基づいて、オリジナルデジタルバッジを付与し、プロモーション効果やスキル認定、ゲーミング要素を活用。顧客エンゲージメントを高め、割引や特典を提供するシステムを構築します。

要件1: バッジ付与と割引設定

要件

- 最大30種類のバッジを提供
- バッジごとに割引設定（特定の顧客のみが対象）

目的

- バッジを取得するモチベーションを提供
- 顧客に特別感を与え、リピーターを増やす

使用エクステンション

- Mageplaza Reward Points (Ultimateプラン)

工数目安

- 5～7人日

要件2: スキルレベル認定とリスク管理

要件

- 登山や宿泊履歴に基づいてスキルレベルを認定
- リスク管理機能を導入

目的

- 顧客のスキルレベルに応じたサービス提供とリスク管理

カスタム開発

- スキルレベル認定ロジックの作成

工数目安

- 10～15人日

要件3: ゲーミフィケーション

要件

- バッジ収集やSNSシェア機能を導入

目的

- 顧客の達成感を促し、リピート利用を促進

使用エクステンション

- Mageplaza Reward Points (Ultimateプラン)
- カスタム開発

工数目安

- 5～8人日

要件4: 管理者承認フロー

要件

- 特定のバッジ（例: 100名山制覇）に管理者承認が必要
- 管理者が承認後にバッジを付与

目的

- バッジ付与に信頼性を持たせる

カスタム開発

- 承認フローの実装

工数目安

- 8～12人日

要件5: バッジタイトルによる特典や優遇

要件

- 特定バッジ所有者に割引や特別ツアー参加権を付与

目的

- バッジタイトルによる優遇措置を設定

使用エクステンション

- Webkul Booking and Reservations

工数目安

- 3～5人日

要件6: 顧客プロフィールとの連動

要件

- 顧客の登山・宿泊履歴と連動させ、バッジを自動付与
- バッジを顧客のプロフィール画面で表示

目的

- 自動でバッジをプロフィールに表示し、進捗確認が可能

使用エクステンション

- Webkul Booking and Reservations

工数目安

- 5～7人日

要件7: SNSシェア機能

要件

- バッジをSNSでシェア可能に

目的

- 顧客の達成感とプロモーション効果を促進

使用エクステンション

- Mageplaza Reward Points
- カスタム開発

工数目安

- 3～5人日

デジタルバッジの分類例

バッジは以下の3つのタイプに分けられ、それぞれ異なる付与方法や承認プロセスが必要です。

1. 顧客のスキルや属性に関連するバッジ

特徴: 顧客のスキルや資格に基づくバッジで、宿泊履歴では把握できないもの。

例:

- 山岳ガイドバッジ: ガイド資格や経験に基づく
- 登山家バッジ: 特定の山の登頂を達成
- 冒険者バッジ: 高難易度のルートをクリア

付与方法: 管理者の承認が必要。顧客からの申請と管理者の確認後にバッジが付与される。

2. 宿泊や活動履歴に基づくバッジ

特徴: 顧客の宿泊や施設利用履歴に基づき、自動的に付与されるバッジ。

例:

- 白馬7小屋制覇バッジ: 7つの山小屋に宿泊
- 常連バッジ: 特定の施設に一定回数以上宿泊
- 長期滞在バッジ: 長期宿泊者向けのバッジ

付与方法: システムが宿泊履歴を追跡し、条件を満たした際に自動的にバッジを付与。

3. 顧客の達成・アクティビティベースのバッジ

特徴: 顧客の行動や成果に基づいて付与されるバッジ。

例:

- 北アルプス100名山制覇バッジ: 100名山の登頂達成
- 登頂バッジ: 特定の山の登頂を達成

付与方法: 管理者の承認や、登山アプリやGPSデータを用いた自動付与。

ポイント利用バッジの整理

ポイントを利用して付与できるバッジは、以下のように分類されます。

ポイントを利用するバッジ

1. 宿泊や活動履歴に基づくバッジ

ポイントとの連動が可能:

- 宿泊やアクティビティに応じてポイントを獲得し、一定のポイントでバッジを自動付与。

例:

- 常連バッジ: 宿泊ポイントが一定数に達した場合
- 長期滞在バッジ: 長期滞在で貯まったポイントに基づく

ポイントを利用しないバッジ

1. 顧客のスキルや属性に関連するバッジ

ポイントは不要:

- 顧客のスキルや資格に基づくバッジは、管理者承認が必要であり、ポイントシステムを利用しない。

例:

- 山岳ガイドバッジ: ガイド資格や経験に基づく
- 登山家バッジ: 特定の山の登頂実績に基づく

合計工数と進行の優先度

合計工数目安

- 39～75人日

進行の優先度

1. 既存エクステンションの導入
 - MageplazaやMirasvitのエクステンションで基本機能を実現
2. カスタム開発の進行
 - 管理者承認フローやスキルレベル認定を並行して進行
3. テストとデバッグ
 - 全体のテストとデバッグを重点的に実施

まとめ

このシステムは、顧客エンゲージメントの向上とプロモーション効果を両立させ、顧客が楽しみながら利用できるバッジシステムを実現します。エクステンションとカスタム開発を組み合わせ、効率的に実装を進めることで、工数を抑えつつ効果的なシステムを構築可能です。